

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業 すまいる		
○保護者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年3月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48家庭	(回答者数) 28家庭
○従業者評価実施期間	令和8年2月23日		～ 令和8年3月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設自体が大きく、運動するスペースも確保できるため、個々の状態に合わせた活動が行える。	中学生と高校生が主に利用しているものの、空間的な圧迫が少なく活動できている。また、職員の介入を減らし、考えながら活動できるように手助けし、意思が尊重されたと実感されやすい状況を作っている。	就労への意識や意義理解が向上する取組みを充実させ、卒後のイメージをしながら、自己選択が行える支援を行っていききたい。
2	保護者との意思疎通が図れるように、連絡を密に行っている。	それぞれのご家庭に合わせたやりとりが実施できるように工夫し、児童の現状や状態をお伝えしながら、様々な悩みや課題感を共有して頂けるようにしている。	共有頂いた内容に合わせた研修会や座談会などをさらに実施し、本人主体の関わりを共に大切にしていける環境を整えていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の状態や状況に応じた活動の幅が狭まりやすくなってしまふ。	活動が固定化されやすくなってしまったため、職員ひとりひとりが様々な工夫を凝らし、活動内容を検討している。	違う事業所との交流や研修会等を通して、職員ひとりひとりの活動考案の幅を広げていきたい。
2	協議会活動への理解が乏しい。	協議会の活動と周知し、参加しているものの、協議会の活動に参加している実感が持てていない。	周知方法、法人や事業所としての意識化をどのように進めていくのかを検討し、協議会に参画していける職員を育成していきたい。
3			